

令和5年度

全国地域づくり人財塾

共催：総務省

地域活性化のためには、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが大切です。そのような状況を生み出すために必要となる、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成するため、本講座を開催いたします。地域づくりに実績がある豪華な講師陣、そして熱い志を持つ全国からの参加者と熱い議論をしてみませんか？

開催要領

日 程

令和5年5月15日(月)～5月17日(水)(3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村等職員、地域づくりに取り組むNPO関係者及び
地方創生カレッジ受講中又は受講済みの方

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和5年4月5日(水)まで

※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、柔軟に対応します。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

「Web申込み」が不可能な場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和5年

5月

15日(月)

11:00~12:00

入寮受付

11:30~

昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

12:45~13:00

導入講義 人材力の活性化について

総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室

「地域の人材力」向上の必要性和総務省のこれまでの取組み、参加者への期待についてお話しいたします。

13:00~15:35

講義・直接対話 1 これからの地域づくり人財と「チーム我がまち」

東京都立大学法学部 教授 大杉 覚 氏

【講演概要】

3つの原則(自発・自前・自在の原則)を踏まえた地域づくりに求められる人財のあり方について、人材の好循環を生むプラットフォームづくりについて考えます。

【プロフィール】

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了(博士(学術))。専門分野は、行政学、地方自治論。

成城大学法学部専任講師、東京都立大学法学部助教授を経て、平成17年から現職。

(一財)地域活性化センター地域リーダー養成塾主任講師、総務省地域づくり人材の養成に関する調査研究会座長などをはじめ、自治大学校講師、国・自治体の審議会等委員を歴任。世田谷区参与・せたがや自治政策研究所所長、自治体行政や地域づくり人材育成の研究が専門。

著書に、『コミュニティ自治の未来図』『これからの地方自治の教科書 改訂版』など。

15:50~16:40

グループワーク① 受講者が抱える地域活動に対する課題の解決策について検討を行います。

16:50~17:10

入寮オリエンテーション

17:10~17:40

説明 「地方創生カレッジ」について

一般財団法人地域活性化センター 理事長 椎川 忍 氏

地方創生カレッジは、国の「地方創生人材プラン」に基づき、地方創生を担う人材を養成するために2016年12月22日に開講されました。190を超えるeラーニング講座で実践的な知識を学ぶことができるほか、実地研修も取り入れることでより深く知識やスキルを習得できるようにする取組みです。

18:00~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~9:25

グループワーク② 1日目に引き続き、課題解決に向けた検討を行います。

9:25~12:00

講義・直接対話 2 その地域づくり、古くない?

～全国280以上の自治体と共創してきた、地域づくりの秘訣～

株式会社あわえ 代表取締役 吉田 基晴 氏

【講演概要】

地域づくりの中核を担う自治体職員の皆さまに、これからの人口減少社会における地域づくりとの向き合い方、考え方をお話しいたします。

令和5年

5月

16日(火)

令和5年

5月

16日(火)

【プロフィール】

徳島県美波町出身。自身の徳島へのサテライトオフィス進出をきっかけに、地方の暮らしの中で感じた地域課題をビジネスの力で解決したいという思いから、パブリックベンチャーの(株)あわえを設立。「日本の地方を再興し、地方の力で日本を元気にする」ことを目指し、地方へのサテライトオフィス誘致や起業・創業の支援を軸とした地方振興事業に取り組む。

2018年「本社は田舎に限る」(講談社+α新書)を上梓し、2019年公開の映画「波乗りオフィスへようこそ」の原案となる。2021年4月、地域の継続的な発展には次世代育成が必要との思いから、全国の地域を舞台に新たな教育づくりに挑む(一社)ミライの学校を設立。同年、地域森林資源の活用を通じて「森林関係人口」の創出を軸にした、中山間地域の振興に取り組む(株)四国の右下木の会社を設立。

美波町 政策参与。四国大学特認教授。内閣官房「未来技術×地方創生検討会」委員。J-LIS経営審議委員会委員。ふるさと財団調査研究部会委員。総務省地域力創造アドバイザー。

13:00~15:35

講義・直接対話 3

元公務員が挑む、地方発、自治体課題解決に向けた取り組みについて

株式会社MAKOTO WILL 代表取締役 菅野 永 氏

【講演概要】

東北を中心に自治体の課題解決や官民マッチング、地域の創業支援に取り組む中で見えてきた地方の可能性についてお話します。自治体の課題だからこそ、そして地方発だからこそ全国に波及できる可能性があることをお伝えします。

【プロフィール】

地方銀行、公務員を経て2015年1月にMAKOTOへジョイン。MAKOTO地方創生事業を立ち上げ期から担当し、東北各地で自治体と連携した起業家支援プロジェクトを実施。2018年7月にMAKOTOグループ化に伴い、MAKOTO WILL代表取締役に就任。創業支援事業、官民マッチング、自治体職員向けキャリア支援等、自身の公務員経験を活かした自治体の課題解決に向けた事業を複数展開中。

公務員時代は北海道庁市町村課職員として勤務。夕張市を担当したことが原体験となっており、疲弊する地方自治体に貢献することを使命とを感じるようになる。道庁時代は道内市町村の行財政運営サポート、道内公営企業の経営支援などを経験。

一般社団法人地方自治マネジメントプラットフォーム理事・発起人、総務省地域力創造アドバイザー、一般社団法人シェアリングエコノミー協会東北支部長

15:50~18:15

講義・直接対話 4

官民共創で地域が潤うには ～行政の役割と必要なスキル～

一般社団法人官民共創未来コンソーシアム 代表理事 小田 理恵子 氏

【講演概要】

地域の課題を官民共創により解決するための手順を、各地の事例をもとに解説します。そのために必要な行政職員のスキルや経験値の獲得方法についてもお話します。

【プロフィール】

長野県生まれ。一般社団法人官民共創未来コンソーシアム代表理事。

他にも株式会社PUBLICA代表取締役・地方議員のオンラインサロンPublicLAB運営など手掛けるパラレルワーカー。地方自治体関係では、磐梯町官民共創・副業・テレワーク審議会会長や三重県DXアドバイザー、愛媛県・市町DX推進専門官(官民共創担当)などを歴任。

民間企業にて業務改善コンサルティングや人材育成制度設計などに従事。その中で自治体の行政改革プロジェクトに携わり地方の置かれた現状を知り地方議員となる。市議を2期務めたのち起業。官民共創を通じて公共分野のイノベーションを起こすべく活動中。

株式会社で民間企業向けの新規事業開発コンサルティング、一般社団法人で自治体向けの課題解決の伴走と、官民両側からの支援を行っている。

著書に「ここが変だよ地方議員」。

令和5年

5月

17日(水)

9:00~9:25

グループワーク③ 2日目に引き続き、グループワーク発表に向けての準備を行います。

9:25~12:00

講義・直接対話5 **移住・関係人口獲得につながる情報発信と場づくりのポイント**TURNSプロデューサー/株式会社第一プログレス 代表取締役 **堀口 正裕 氏****【講演概要】**

発信ターゲット(移住希望者)や移住者の趣向・傾向の整理や、発信する上で大切なこと、全国各地の移住施策事例とその成果から情報発信のポイントについてお話しします。

【プロフィール】

総務省地域力創造アドバイザー、国土交通省「地域づくり表彰」審査会委員を務める他、地域活性事例に関する講演、テレビ・ラジオ出演多数、全国各自治体の移住施策に関わる。

東日本大震災後、これからの地方との繋がりがたと、自分らしい生き方、働き方、暮らし方の選択肢を多くの若者に知って欲しいとの思いから、2012年6月「TURNS」を企画、創刊。「TURNSカフェ」や「TURNSビジネススクール」等、地域と都市をつなぐ各種企画を展開。

地方の魅力は勿論、地方で働く、暮らす、関わり続ける為のヒントを発信している。

13:00~14:10

成果発表 3日間のグループワークでの検討の結果を班毎に発表します。

14:10~14:40

研修アンケート記入、閉講

- 各講師が講義を行っている一般財団法人地域活性化センター等が提供する「地方創生カレッジ」の講座を受講したり、関係HPを参照してから、当人材塾に臨むことにより、講義への理解がさらに深まることが期待できます。

過去の研修受講者の声 ~研修アンケートから~

- 集団による意志形成の過程の基本を学べた。
- ファシリテーションの仕組みを地域づくりの場に取り込み、住民主体の地域づくり活動にすべく策を練って実行したい。
- それぞれの課題や取り組みたいことを聞き、自分のやりたいことも見つめ直すことができた。
- ターゲットの把握。真の情報。そして、発信することの重要さ。これからの動きに取り入れたい。

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。
なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- 研修内容の記録を目的として、主催者側において写真撮影を行います。また、写真はHP等で掲載される場合があります。予めご了承ください。
ただし、受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
- 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。